

令和2年9月 南魚沼市議会定例会
一般質問順位表

質問順位	議席番号	質問者	日程
1	11	清塚武敏	7日 (月)
2	13	岡村雅夫	
3	2	梅沢道男	
4	14	佐藤剛	
5	6	田中せつ子	
6	3	目黒哲也	
7	4	吉田光利	8日 (火)
8	15	寺口友彦	
9	1	大平剛	
10	16	中沢一博	
11	8	永井拓三	
12	10	塩川裕紀	9日 (水)
13	7	勝又貞夫	
14	22	阿部久夫	
15	5	中沢道夫	
計		15名	

【質問方式】（質問制限時間は、いずれも答弁時間を含め 60 分）

一括質問一括答弁方式： 全質問項目を一括して行い、答弁も一括して行う。
（初回は登壇して行い、質問回数は 3 回まで。）

一問一答方式： 質問及び答弁を一問ずつ行う。（ただし初回の質問は、登壇して最初の質問項目のみをまとめて行う。質問回数に制限なし）

複合型一問一答方式： 一問一答方式において、質問大項目の最初の質問はまとめて行い、以降は一問ずつ行う。

質問 順位	質問 内 容
1	<p>1 未来の地域づくりをどう進めていくのか</p>
議席	
11	
清 塚 武 敏 (一 問 一 答 方 式)	<p>合併後平成 20 年に、市内 12 地区の地域づくり協議会が設置され、自治活動の拠点として、地域の活性化や、さまざまな課題に取り組み、創意工夫により、特色ある地域づくりが進められてきた。こうした地域には豊かな自然や伝統、祭り、自慢できるコミュニティ、シンボルとしての坂戸山、毘沙門堂や市営スキー場等がある。南魚沼市の未来、地方創生、人口減少問題等を解決していく中では、地域づくり協議会の役割は重要になると考える。</p> <p>今後、地域の声が反映されるような、未来の地域づくりをどう進めていくのか伺う。</p> <p>(1) 地域の人材・人づくりは重要である。予算等も含め、考えを伺う。</p> <p>(2) 地域課題を捉え、未来の地域づくりをどう考え、どう進めていくのか伺う。</p>
	<p>2 国内友好都市との連携と交流を市の発展にどうつなげるのか</p> <p>友好都市で 7 番目となる、東京都江戸川区との友好都市盟約締結を行った。市長は、雪国の小さな南魚沼市と非常に大きな江戸川区との提携であり、長く続いてきた友好的な関係をさらに昇華し、今後自治体間で助け合うことができるように進め、信頼の輪が広まることを、心から期待するとした。現在コロナ禍ではあるが、友好都市との交流はチャンスにしなければならないと考える。</p> <p>(1) 今後 7 都市との文化・教育・スポーツ・経済・観光の交流をどのように深め、市の発展につなげていくのか。</p> <p>(2) それぞれの友好都市との災害時の連携と、相互協力体制の構築はいかに。</p>

質問 順位	質問 内 容
2	第3弾市独自経済支援策の「プレミアム付飲食・宿泊券」について伺う
議席	
13	消費税増税、異常少雪に続き、新型コロナウイルス感染症の影響は、市内経済に大打撃を与えている。市は第1、2、3弾の経済支援策を実施している。法、制度、施策を余すことなく活用し、足らざるを進言し、難局を乗り越えなければならない。
岡 村 雅 夫 (一問一答方式)	<p>(1) 7月23日、JAみなみ魚沼の職員が不正な方法で購入していたと報道された。市長は7月20日、第11回南魚沼市議会新型コロナウイルス感染症対策連絡会議の挨拶で触れたが、詳細な報告はなかった。事実経過と、市・南魚沼市観光協会・JAみなみ魚沼の対応と責任について、公式な説明と見解を求める。</p> <p>(2) 南魚沼市観光協会 26,000冊、JAみなみ魚沼 13,000冊販売の答弁に誤りがある。 ①1,000冊不足の内容を伺う。 ②販売人数 4,081人、販売世帯数 3,196世帯は総数で回答を得ているが、販売冊数は回答がない。各販売所の集計を示しての説明を求める。</p> <p>(3) 初回は7月1日にチラシを配布、7月4日から販売、7月6日に完売と慌ただしかった。追加発行も慌ただしく、8月1日にチラシ配布、初回購入していない世帯に先行して8月上旬に購入引換券を郵送し、11日から販売、初回購入した世帯には9月以降に購入引換券を郵送する。JAみなみ魚沼事件の調査結果を踏まえた追加発行の協議があるべきだった。ことの重大さを軽視しての専決処分であったと言わざるを得ない。 ①第2波が懸念される中、安全の確保を探るべきで、飲食・宿泊推奨はいかがかと思うが、所見を伺う。 ②事件の真相と検証を踏まえた追加発行の協議があるべきだったと思うが、所見を伺う。 ③購入した世帯にも更に販売するという根拠を伺う。</p>

質問 順位	質問 内 容
3	1 子どもから若者まで途切れのない支援体制の継続にどう取り組むのか
議席	
2	
梅 沢 道 男 (一問一答方式)	<p>これまで南魚沼市では、子ども・若者育成支援センターにおいて、いじめ、不登校からひきこもり、ニートへの負の連鎖を断ち切るため、子どもから若者まで途切れのない支援体制の構築を目指し、子ども支援、若者支援、家庭教育支援を三本の矢と位置づけ、取組を進めてきた。</p> <p>しかし、令和2年度からは、三本の矢のうちの一つである家庭教育支援が社会教育課の所管となった。この組織替えの持つ意味と、途切れのない支援体制の継続に今後どのように取り組むのか伺う。</p> <p>2 医療のまちづくり検討委員会のあり方と今後の進め方について</p> <p>(1) 市では、持続可能な医療と介護・福祉の連携によるまちづくりに向け、医療のまちづくり検討委員会を設置し、議論を進めている。第1回検討委員会を3月1日に開催し、9月29日の第6回検討委員会で提言をいただく予定だが、その後の進め方についての手法やスケジュール等について伺う。</p> <p>(2) 第5回までの資料を見ると、市民病院のドクターや職員の間から、多くの不安や不満の声が聞かれるようだが、医療や介護、福祉の現場、さらにはサービスを受ける立場の市民の声の反映が不足しているのではないか。</p> <p>(3) この検討委員会は、コロナ禍のため第1回を除いて、一般公開での開催が困難となっており、議論経過等の情報公開が不十分な状況となっている。十分な情報公開を担保するため、音声データの公開を行う考えはないか伺う。</p>

質問 順位	質問 内 容
4	地域包括ケアから始まる「まちづくり」を
議 席	
1 4	<p>(1) 地域包括ケア実現のための連携の準備と実践に向けた取組は どこまで進んだか。</p>
佐 藤 剛	<p>① どういう地域包括ケアシステムを目指すか。目標の共有は できているか。</p> <p>② 地域包括ケアシステム構築に向けた不足する資源の把握と その整備は計画的に進めているか。</p> <p>③ 多職種連携の実践に向けた取組の進捗は。</p> <p>④ 医師不足、医療機関が少ない中で、地域包括ケアシステム の要である在宅医療を支えるために遠隔医療の検討と看護人材 の体制強化が必要でないか。</p> <p>⑤ 「うおぬま・米ねっと」の新システムは医療・介護の連携 体制を進めたか。</p> <p>(2) 「まちづくり」としての地域包括ケアシステムのビジョンを 描けるか。</p>
(一問一答方式)	

質問 順位	質問 内 容
5	<p>1 南魚沼市介護人材確保緊急支援事業の拡充について</p>
議席	<p>平成30年度から始まったこの事業は、介護職員初任者研修と介護職員実務者研修の受講者が増加傾向になり、定着してきた。しかし、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、介護事業所のみならず医療・福祉関係でも、更に人材不足と経営の厳しさが増しており、重要な課題となっている。</p>
6	<p>(1) 本年度は新型コロナウイルスの影響が大きいと思うが、申請状況と今後の予定は。</p>
田 中 せ つ 子	<p>(2) 介護資格取得を目指す人は、障がい者福祉事業所や病院でも勤務しており、補助対象事業所を拡充すべきと考えるが検討しているか。</p> <p>(3) 福祉施設で新型コロナウイルスの集団感染が発生した場合に、応援職員を派遣する体制を県も検討しているようだが、市での対応はどうか。</p>
(複 合 型 一 問 一 答 方 式)	<p>2 男女共同参画基本計画の令和元年度推進計画の評価と令和2年度推進計画について</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策による、外出自粛の広がりや、全国的にDV被害相談が増えているという。基本目標「誰もが安心して健やかに暮らせるまちづくり」の中の、影響があると思われる項目について伺う。</p> <p>(1) DV被害についてはデートDVを含めてまだ理解が広がらず、相談件数も少ない。学校だけでなく市民への啓発も必要だが、今年度の予防啓発計画は実施できているか。</p> <p>(2) いじめの早期発見と相談支援は前年度評価がBであり、スクールソーシャルワーカーの勤務日数不足が課題というが、いじめ件数の増加に対応できているか。</p> <p>(3) 高齢者虐待の項目は前年度評価が全部Bであり、今年度は地域活動自粛等の影響も心配される。高齢者世帯が増える中、認知症ケアやDV問題も含めて、孤立を防ぎ、早期発見と総合的支援につなげる情報共有体制の充実は進んでいるか。</p> <p>(4) 児童虐待予防の連携体制づくりでは、前年度評価がCであり、今年度7月末現在の相談数も増えている。民生委員・児童委員の研修等の計画は実施できるか。</p>

質問 順位	質 問 内 容
6	With コロナ・After コロナの産業振興策について
議 席	
3	
目 黒 哲 也 (一問一答方式)	<p>内閣府が発表した2020年4～6月期の国内総生産(GDP)速報値は、年率換算で27.8%減となり、新型コロナウイルスの感染拡大で、リーマン・ショック後の2009年1～3月期の年率17.8%減を超える戦後最大の落ち込みとなった。</p> <p>GDPの過半を占める個人消費は前期比8.2%減であり、外食や旅行などのサービス消費を中心に急減した。8%への消費税率引上げ直後の2014年4～6月期の4.8%減を大きく下回り、過去最悪の落ち込みとなった。</p> <p>いまだ感染の収束が見えず、経済の低迷が長引く恐れがあると思われる。</p> <p>そのような状況下で、経済支援を更に推し続けるとともに、Withコロナ、After コロナに適応した施策を打っていく必要があると考える。</p> <p>そこで以下について市長の所見を伺う。</p> <p>(1) 雪の利活用による産業振興策について</p> <p>①雪を活用したアクティビティの施策はいかに。</p> <p>②雪室の活用による地域産品のブランド化施策はいかに。</p> <p>③雪冷熱エネルギーの利活用施策はいかに。</p> <p>(2) 新型コロナウイルス感染症によって崩壊してしまった観光の振興策はいかに。</p>

質問 順位	質問 内 容
7	コロナ禍での産業支援について
議席	
4	
吉 田 光 利 (一問一答方式)	<p>コロナ禍により、あらゆる業種に影響が及び、自粛生活が続く中、特に飲食、宿泊業の深刻さは承知の通りである。市としてプレミアム券の販売等の重点支援策を講じ、また第1弾から第3弾まで市独自の水道料金減額、各種経済支援、給付、緊急雇用対策等、状況を判断しながらのタイムリーな支援策は効果的で期待できる。</p> <p>昨年より、市長自ら各事業所訪問を実施し、また「南魚沼市製造業連携研究会」の立上げによって、情報収集など、課題の取組を開始したことは、大きな前進と思うところである。しかしながら、今回の新型コロナショックは、製造業にとって、大きな痛手である。特に裾野が広い自動車産業関連は世界中の工場操業停止から、関係する産業に影響が直撃した。複合的な要素も重なり、当市に進出している大手の上場企業の撤退や縮小のニュースは思いがけない衝撃であった。ほとんどの製造業は、一時休業を行い、一部閉鎖の事態となっている。また、基幹産業である農業についても、先行きにどのような影響があるのか懸念される。企業の存続、産業全体の低迷、雇用の確保が心配される。</p> <p>そこで以下に市長の所見を伺う。</p> <p>(1) 事業所訪問と「南魚沼市製造業連携研究会」立上げ後の進捗はどうか。</p> <p>(2) 企業存続のため南魚沼市として、情報関連を含めたインフラ整備等の差別化が大事だと思うが、支援策の考えは。</p> <p>(3) コロナ禍で企業の働き方の形態が変化する中、サテライトオフィスの誘致を積極的に進め、移住・定住促進及び雇用の確保を図るべきでは。</p> <p>(4) 市の企業支援に向けて、タイムリーな情報収集と分析がなされているか。</p> <p>(5) コロナ禍における農業への影響について、調査は行われているのか。</p>

質問 順位	質 問 内 容
8	1 危機意識が感じられない後期総合計画案について
議 席	(1) 人口減・雇用減・税収減の3減への危機意識は総合計画に盛り込まれているのか。
1 5	
寺 口 友 彦 (複合型一問一答方式)	(2) 遠隔医療、GIGAスクール、自治事務など官民を問わずデジタル化が進む中で、デジタル化対応総合戦略部門新設の意識は総合計画に盛り込まれているのか。
	(3) 新一般廃棄物処理基本計画策定と新ごみ処理施設稼働を後期計画5年間のうちに実行するという危機意識が総合計画に盛り込まれているのか。
	(4) 新財政計画を作り、財政健全化を強く謳う危機意識が総合計画に盛り込まれているのか。
	2 一人一台の情報端末機について
	(1) コンピューターを動かす元となるプログラミング教育の計画はどうなっているのか。
	(2) 情報端末機を使って、子どもたちに競争意識を持たせる教育を意識しているのか。

質問 順位	質問 内 容	
9	「新しい生活様式」と新型コロナウイルス対策について	
議席		(1) 南魚沼市において新型コロナウイルス感染者第1号が出た際、その人の権利、人権をどう守るのか。
1		(2) 「新しい生活様式」の中で南魚沼市内の小中学校はどのような対応を取っているか。
大 平 剛		
(一問一答方式)		

質問 順位	質問 内 容
10	1 コロナ禍における当市の積極的な生活・経済支援策強化について
議席	
16	
中 沢 一 博 (一問一答方式)	<p>新型コロナウイルス感染症が再拡大し、長期化が予測される中、今回の経済危機は10年前のリーマンショックを超え、戦後最大の危機と言われている。今回の危機は、行動の抑制・外出自粛により人々が様々な経済活動を控えることで、実体経済がほぼ止まってしまった。何としても市民の命と暮らしを守り抜くため、経済回復に向け、感染拡大防止と社会経済の両立を図りながら、積極的施策を講じなければならない。そこで市長に伺う。</p> <p>(1) 当市の現在の経済状況をどのように分析しているか。また、今までの支援策の検証は。</p> <p>(2) 新型コロナウイルスが長期化する中、市独自の「第2弾事業継続給付金」の考えは。</p> <p>(3) 資金繰り支援の強化を行うため、信用保証料給付額の拡充の考えは。</p> <p>(4) 観光宿泊業への市独自の支援強化のタイミングをどのように考えているか。</p> <p>(5) 基幹産業の一つである観光産業の回復に向け、長期的な視野を持った市独自の具体的支援策を伺う。</p> <p>①新型コロナウイルス感染拡大防止対策支援金(3密対策)について</p> <p>②宿泊割引商品プレミアム券の発行推進について</p> <p>③収束後の団体客誘致に向けた、観光団体バスへの補助支援策について</p> <p>④教育合宿に向けた、施設利用料の減免措置について</p> <p>2 少子化対策における子育てに関する経済支援策について</p> <p>今後5年間の指針となる第4次少子化社会対策について、「希望出生率1.8」の実現に向け、地域全体で子育てを支え、希望が持てる社会へ、子どもを安心して産み育てられる環境整備が更に必要と考える。そこで、当市の子育て支援への具体策を伺う。</p> <p>(1) 当市の子育て支援におけるトップリーダー市長の思いは。</p> <p>(2) 不妊治療の支援拡充について</p> <p>(3) 多子世帯・多胎児育成への負担軽減について</p> <p>(4) 出産一時金の拡充について</p>

質問 順位	質問 内 容
11	1 南魚沼市の公園について
議席	
8	
永 井 拓 三 (一問一答方式)	<p>2020年春からの新型コロナウイルスの感染防止対策によって、日本社会の公園に対する考え方は大きく変化をしている。公園はこれまで市民の憩いの場として、青少年の遊び場として大いに利用されていた。一方でその遊具等の老朽化や施設全体としてのデザインの古さなどで利用率の低い公園もある。今後の市民の遊びや憩いの場としての公園整備をどのように進めようとしているかを問う。</p> <p>(1) 老朽化した公園の遊具はどのように更新していくか。</p> <p>(2) 河川公園等の整備はいかに。</p> <p>(3) 新規の公園の建設等の予定はあるか。</p> <p>(4) コロナ禍が過ぎた後の市民の公園利用をどのように考えているか。</p> <p>2 小学校の一貫教育について</p> <p>ここ数年、南魚沼市内の小中学校の統合が目立つ。それは人口減少によるもので仕方がないことは理解ができる。一方で、学校の統合とともに、教育プログラムの統合も行うことで、より合理性が増すことが予想できる。小中学校の一貫教育について議論をする必要があると考える。</p> <p>(1) 一貫教育のメリットとデメリットを市はどのように捉えているか。</p> <p>(2) 一貫教育校の設立の可能性はあるか。</p>

質問 順位	質問内容
12	<p style="text-align: center;">市長選挙について</p> <p>市長は、昨年12月議会において、2期目の挑戦を表明され、課題山積の中、市の発展と市民の安心安全のため、日夜の努力に対し敬意を表す。今年は異常少雪に続き、未曾有のコロナショックに見舞われた。この難局を乗り越えるには、ますます市長の継続性による強いリーダーシップが必要であり、市民の期待するところである。改めて、この難局を踏まえ、2期目挑戦の決意を伺う。</p>
議席	
10	
<p style="text-align: center;">塩 川 裕 紀</p> <p style="text-align: center;">（一問一答方式）</p>	

質問 順位	質問 内 容
13	1 情報公開について
議席	南魚沼市の情報公開はどのように進められてきたか。4年前と比べ、具体的にどのような改善が見られたか。
7	
勝 又 貞 夫 (一問一答方式)	2 図書館について
	大型図書館ができて6年が経過した。市民の利用も多く、大変喜ばれているものと思う。
	<p>(1) 6年を経て気付いた問題点があるとすれば、それは何か。</p> <p>(2) 今後どのように改善していく予定か。</p> <p>(3) 他の自治体の大型図書館と姉妹関係を持って、運営などのノウハウを学び、改善に努めるべきではないか。</p>
3 公園の管理について	
(1) 公園の管理は適切に行われているか。改善が望まれるとすれば、それはどんなことか。	
(2) 公園を整理することは考えられないか。ほとんど利用のない公園も見受けられるが、状況に応じて、閉園にする予定はないか。	

質問 順位	質 問 内 容
14	<p>1 林市政の成果と今後の課題対応について</p> <p>(1) 4年前の激しい市長選挙に当選以来、早4年が過ぎようとしている。掲げていた公約の実現状況など、この4年間の成果について伺う。</p> <p>(2) 異常少雪により観光客が激減した中で、新型コロナウイルス感染症により、市で計画していた事業やイベントも中止になるなど、産業・観光分野において大きな影響が出ている。市の財政状況も含めた、今後の取り組みについて伺う。</p> <p>2 空き校舎の管理体制について</p> <p>学校の廃校により、平日昼間の子どもたちの声は聞こえなくなり、地域にとっては寂しいことばかりである。また、学校は地域社会の中心的な存在として大きな役割を果たしてきたものと考えている。</p> <p>統廃合による廃校は仕方がないものと考えているが、常駐管理者が不在となり、荒れたグラウンドや敷地を見ると寂しさが増すばかりである。</p> <p>近隣住民の感情の面からも、有効な活用方法と次の管理者が決定するまでは、行政が責任を持って維持管理を行うべきと考えるが、市長の見解を伺う。</p> <p>3 新型コロナウイルス感染症対策の中での学校運営について</p> <p>新型コロナウイルス感染症により、教育現場が大きく様変わりしている。いつ終息するか分からない中、児童生徒が安心して教育を受けられることを願っている。</p> <p>今後の学校運営について伺う。</p>
議席	
22	
阿 部 久 夫 (一 問 一 答 方 式)	

質 問 順 位	質 問 内 容
1 5	コロナ禍後の社会のありようについて、市長の見解を伺う
議 席	
5	
中 沢 道 夫	
（一問一答方式）	

- 今回のコロナ禍によって、社会のありようも鋭く問われている。
そこで、身近な以下の点について伺う。
- (1) 小中学校の少人数学級の実現について、市長の見解を伺う。
 - (2) 産業構造の問題について、国民の生命に関わる、マスクや防護服などの生産を国外に依存している状況をどう考えるか、市長の見解を伺う。
 - (3) 2点目とも関わるが、最低を更新し続ける食糧自給率の抜本的向上を図るべきと考えるが、市長の見解を伺う。